

# 政務調査研究視察 報告書

平成18年8月16日提出

視察日	平成18年6月27日(火) ～ 平成18年6月29日(木)	
視察先	鹿児島日置市、長崎諫早市、大分市	
視察内容	「中高一貫教育」と「寮生活の有効性」について	
視察者	深瀬 稔、安形光征、梅村順一 計3名	
鹿児島県日置市	<p><b>&lt;鹿児島育英館の教育方針等について&gt;</b></p> <p><b>1 鹿児島育英館の概要</b>                  鹿児島育英館中学校と高等学校は、寮生活のできる中高一貫校である。本校は、学校法人日章学園の傘下であり、大きなネットワークの中にある。日章学園は、多くの海外姉妹校を持ち英語教育に力を注ぐ学校である。育英館中学校の特進コースは、育英館高等学校との一貫教育で、土曜練成講座や英語力向上に努め、中1で英検3級・準2級に合格するほどである。体育コースでは、Jリーガーを輩出する鹿児島城西高等学校との一貫教育を実施している。国際交流も盛んで、寮生活のできる特色ある学校である。少人数学級と個別指導で学力向上を目指し、現役合格率100%を目指している。</p> <p><b>2 視察項目の概要</b>                  岡崎市は、合併により中学生寮を持つ額田中学校も管轄下となった。過疎地域における寮生活のあり方や、少人数教育の実践方法にも配慮する必要がある。また英語教育は、新岡崎市にとっても重要な課題である。中高一貫教育の先駆けである学校の視察を通して課題を掘り下げたい。</p> <p><b>(1) 教育方針の特徴</b>                  生徒を主体とする校風があり、生徒自身の存在感を大切にされた基本方針を持つ。学校へ行くことの必要を知り、生きていることやここにいる自分の存在感を得ることを大切にしている。「全ての教師が全ての生徒の担任である」ことの意識付けができ、生徒と教師が共同して実践する学校であることを実感した。</p> <p><b>(2) 英語教育の特徴</b>                  受験の際、英検3級以上は授業料免除となり、英検2級合格で学費の8割免除になる制度がある。徹底した少人数個別指導を実践し、アメリカ語学研修を積極的に行っている。</p> <p><b>(3) 情報教育マスターアイについて</b>                  情報教育にも力を入れており、スムーズな授業展開のために授業支援ソフト「Master Eye」を導入して成果を挙げている。授業展開はもとより、ネット社会における生徒指導として教室内でのチャット体験を実施していることも注目された。</p> <p><b>(4) 寮生活の特徴</b>                  かつては全寮制であった育英館の寮制度は充実している。男女共学になり自由入寮となったが、7割の生徒が寮生活をしている。夜間学習や夜間講座も特徴のひとつである。全体の自習時間に視察をすると、担当の体育教師である山平先生の紹介のあと100名ほどの生徒が全員立ち上がり、声をそろえて挨拶をしてくれました。感動の一言です。</p>	
	日置市	 <p>宮之脇教頭の挨拶</p>  <p>育英館玄関にて</p>

## <長崎日大学園 進学寮「明倫館」について>

### 1 明倫館の概要

長崎日本大学学園は、中高一貫教育を実践する6年間コースを設置している。明倫館は、母校日本大学や国公立大学や私立大学への入学を目指す進学寮である。校舎に程近い寮には、42名の生徒が、家庭的な明るく生き生きとした雰囲気の中で集団生活をしている。関東方面での寮生募集も実施しているが、長崎県特有の離島や遠隔地の生徒を受け入れる役目を果たしている。



明倫館玄関にてお迎え

### 2 明倫館視察の概要

今回の視察は、中高一貫教育の実践校視察と、寮生活の現状と課題を研究することを目標とした。鹿児島育英館でも、寮は離島進学者や遠隔地対策としての役割があった。ここ明倫館では、進学寮を持つことで積極的に県外からの生徒募集を実践し始めている。私学経営上の理由もあるが、特長ある教育が求められているといえよう。明倫館では、寮生活の内容について深く研修してみた。

#### (1) 明倫館の特徴

「長崎游学」明倫館パンフレットのはじめに、多くの偉人たちが長崎で学んだことが紹介されている。寮生活を教育と捉え、集団生活の「かかわりあい」を通してコミュニケーション力の向上を目指している。また5つの能力（自己管理・主体的学習・協調性・集団適応・リーダーシップ）の育成を目標としている。寮教諭は、寮生活とは一日の中でもっとも長い「生活学・人間学」の授業であると位置づけている。また寮教諭は、学校と保護者との中間的な役割を持ち、お互いの立場を理解させながら、子供たちの自主性を育む場所としている。

館長夫妻の情熱と子供たちとの思いやりが寮全体を包み込んでいるように家庭的な雰囲気がある。寝食をともにした「絆」と寮生活の思い出は「生涯の宝物」になっている。夕食後、当番先生の訓話は、何物に変えがたい人間学である。高校生と中学生とのQ&A勉強会の実施は、お互いが育てあう「思いやりの心と感謝の心」を育てている。

#### (2) 人材育成・人間形成への取り組みについて

「学び」とは、社会作りの基盤となる知識や技術や体力の供給であると考え、国のミニチュア版が学校であり、内閣に当たるものが生徒会。さらにミニチュア版が寮であり、国としての活動を実践。目標達成のためのプロセス、問題解決の話し合いと問題提起など、できる限り生徒たちの力で発案・立案することを重視。大人の係わり合いを十分に検討して対応している。また寮教諭は、生徒それぞれに対して、身体的発達や精神的発達に即した教育を心がけている。



コインランドリー

#### (3) 家庭的な雰囲気を持つ寮生活

食事は、3食を明倫館食堂が準備をして、昼食時に学校に届けている。夕食後の皿洗いは、食堂の方と一緒に寮生が洗う。このような姿勢が、親のありがたみを知る機会となる。洗濯物は、登校時にクリーニング室に届け、帰寮後に受け取るシステムであったが、自主性と感謝の気持ちを養うためにコインランドリーが設置された。個人の部屋は、一部屋を2つか3つに区切って個室感覚の勉強部屋としている。

#### 〔感想・岡崎市への反映〕

視察を終えたときに私たちは、とてもすがすがしい気持ちでいっぱいでした。遠くへ子供を預ける親の心配を十分に受け止めて、寮生と向き合っていることを感じる事ができました。最近、長崎の環境を生かし、川や海でのつりが流行っているそうです。岡本館長は、寮での課題が持ち上がった経験を話され、拙速な結論で無くじっくりと、時間をかけ生徒の側から解決策を導いたそうです。穏やかな話しぶりの中で、印象的な言葉がありました。「川は教育であり、海が社会なんです。川が汚れていると海も汚れます。きれいな水の中で健やかにたくましく育った子供たちは、海へ出てから個性を生かした立派な大人になっていくと考えています」これが教育だと感じたのは、私だけでないと思いました。



## <大分県 岩田学園の教育方針等について>

### 1 岩田学園の概要

1900年(明治33年)大分裁縫伝習所として創設。1934年 岩田高等女学校に改称、空襲により校舎全焼し現在地へ移転。1951年岩田高等学校に改称。1983年県下初の中高一貫教育開始。1996年東大合格者累計50名を突破。2006年中高一貫卒業生累計1840名となる。



深瀬議員の挨拶

### 2 岩田学園視察の概要

100年の歴史を持つ岩田学園は、中高一貫教育の実践校として33年目を迎えた。多くの先輩たちが国公立大学を目指し高い進学率を誇る。中高一貫教育の現状と、寮生活とのかかわりを視察した。

#### (1) 教育方針「岩田ニューディールプラン」

本校は社会に有為な人材の育成を目指している。単に成績優秀な人材でなく、人や社会についての深い理解があり、「公平や正義」「人を思いやる心」を持った人物である。これらを実践するために、生徒の自主性を認めながら生活のあり方を生徒・保護者・学校とともに考えている。進学実績向上のため、週6日制を実施。週2回の補習と「夜の講座」の定期的開講。面接や家庭訪問を充実させ、個人の予習復習や課題の点検を強化していく。これらの学校運営計画を、米大統領ルーズベルトのニューディール政策にちなみ、「新規まき直し」の意味をこめた目標としている。

#### (2) 中高一貫教育について

学習に無駄のない6年間の一貫教育として、中学校課程を2年間で修了し中学3年からは高校内容に移行している。高校2年生までに授業内容を終了させ、高校3年生では演習を中心とした内容で大学受験に備えている。教員は持ち上がり制を基本とし、教科指導の重複を避け効果的な学習を推進。また中学1・2年生の時期の学習習慣を重視し、以後の学校生活を習慣づける養成期間としている。基礎教科は、文科省の示す中学校の標準時間のほぼ倍の時間を織り込んでいる。格差是正に向けた習熟度別授業や、夜間講座の開設で学力に合った講座が選択できる。

#### (3) 寮生活の特徴

遠隔地生徒の学習環境の整備として整えられた施設であるが、近距離生徒も受け入れている。高校生は個室、中学生は2人部屋で、中学1・2年生は監督教諭のもとで3時間の学習。中学3年と高校生は、居室にて4時間の学習時間が設定されている。また学校の職員が交代で学習や生活指導をする。寮監、寮母、厨房、清掃、洗濯職員を配置し生活支援をする。寮食メニューは多彩である。定食は6～10種類。どんぶり2種類。カレーのトッピング3種類。うどんそばまで準備されている。最近では昼食を通学生にも開放しており、毎日350食が提供されているという。体育館のような食堂棟は、近代的で目を見張る施設である。



樟英寮の食堂

#### 〔感想・岡崎市への反映〕

106年の伝統を持つ岩田学園は、私学としてのチャレンジ精神を持ち、革新的な校舎は創造性豊かな人材育成の場である。「建物とそれを取り巻く環境で人は育つ」との言葉を聞いた。岩田学園の寮には、人材育成と生徒自らが成長をしていく雰囲気を感じる。

印象として、私学ゆえに大学進学への学校運営が前面に押し出されている。中高一貫教育を含め、寮生活も進学のための効率的な運営となっている。近距離通学生向けに、寮を開放して夜間学習講座を設けて、習熟度別の授業が展開されている。保護者からの依頼もあり、学習塾代わりに対応できるようなシステム作りが進められている。私学の新たな方向性を感じる。岩田学園は、東大と医学部へ進学できる最強の大学を目指し、現在全国49位にランクされ、大分県ではトップの進学校として評価されていた。管理教育が徹底しているという印象である。



今回、3校の視察をして、中高一貫教育の有効性が確認できた。公立学校での実践には課題が残るが、検討の必要がある。学生寮のあり方には、地域性が大きく関与する。大学受験に向けた進学寮とした岩田学園。人間学を学ばせる明倫館。規律重視の育英館を体感した。岡崎市は、額田中学の寮をお荷物と考えるか、教育の再認識の場とするかは、指導者の判断次第であろう。大いに期待したい。